

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	住吉区
学 校 名	大領小学校
学校長名	上田 昌宏

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大領小学校では、第6学年 96名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、大阪市より5ポイント、全国より4.8ポイント高い結果となりました。また、平均無回答率は、大阪市より0.9ポイント、全国より2.2ポイント低い結果となりました。

算数科の平均正答率は、大阪市より5ポイント、全国より4.5ポイント高い結果となりました。また、平均無回答率は、大阪市より0.9ポイント、全国より1.2ポイント低い結果となりました。

両教科共に平均無回答率が低かったことが、正答率の向上につながった一つの要因だと考えられます。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

#### 〔国語〕

○全領域で、大阪市・全国平均を上回る結果となりました。「話すこと・聞くこと」では「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうか」「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうか」という内容で大阪市・全国平均を大きく上回り、思考力・判断力・表現力の向上が見られました。「読むこと」では「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうか」という内容で、大阪市・全国平均を若干下回る結果となり、資料に書かれている内容を正しく読み取ることに課題があることが分かりました。

#### 〔算数〕

○全領域で、大阪市・全国平均を上回る結果となりました。「数と計算」では、「 $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうか」という内容で、大阪市・全国平均を大きく上回りましたが、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうか」という内容では、大阪市・全国平均を若干下回る結果となり、「以上・以下・未満」などの理解が不十分であることが分かりました。「図形」では、「台形の意味や性質について理解しているかどうか」「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうか」という内容で、課題が見られました。

### 質問紙調査より

#### 〔基本的な生活習慣〕

○「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対し肯定的な回答を選んだ割合は、大阪市・全国平均と比べて若干低くなっていました。これらから基本的な生活習慣に改善の余地があると思われます。

#### 〔道徳的価値観〕

○「自分には、よいところがあると思いますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」では、肯定的な回答を選んだ割合は、大阪市・全国平均と比べて上回っており、自己肯定感を持っている児童が多いことが分かりました。「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「学校に行くのは楽しいと思う」に対する肯定的な回答の割合は、大阪市・全国平均を下回っており、道徳教育や人権教育、学力向上のさらなる充実に取り組む必要があると考えます。

#### 〔学習〕

○「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」で肯定的な回答の割合が、大阪市・全国平均よりも低く、児童の興味関心や意欲を高める授業の工夫が必要であると考えます。

## 今後の取組(アクションプラン)

○「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」での肯定的な回答の割合は低い、「国語の授業の内容はよく分かりますか」「算数の授業の内容はよく分かりますか」での肯定的な回答の割合は、大阪市・全国平均と変わらないという結果から、学習内容の理解の過程は維持しつつ、児童が「楽しい」と感じることで授業形態や授業展開を工夫していきます。

○児童の自尊感情や自己肯定感は、年々高まってきているように思われます。しかし、「いじめ」に対する意識は改善していかなければならない課題だと考えます。今後も道徳教育や人権教育、学習活動全般を通じて、児童の自尊感情を高め、自他ともに尊重し合いながら、心を豊かにする指導を継続して行っていきます。

## 【 全体の概要 】

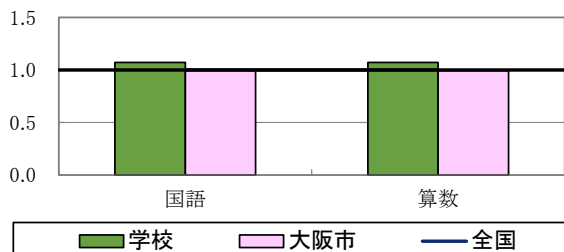
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	72	67
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

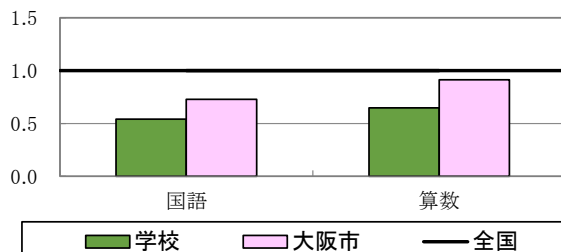
### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.6	2.2
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



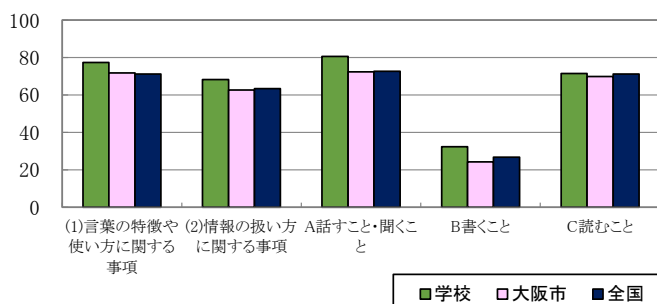
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	77.3	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	68.2	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	80.6	72.4	72.6
B 書くこと	1	32.3	24.2	26.7
C 読むこと	3	71.5	69.9	71.2

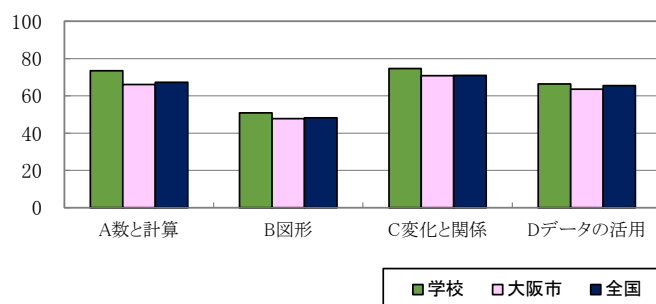
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	73.4	66.1	67.3
B 図形	4	50.8	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	74.7	70.8	70.9
D データの活用	3	66.3	63.6	65.5

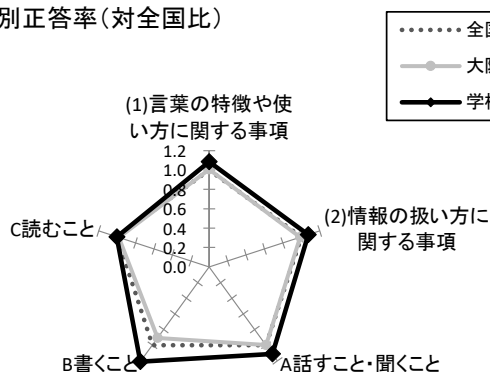
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



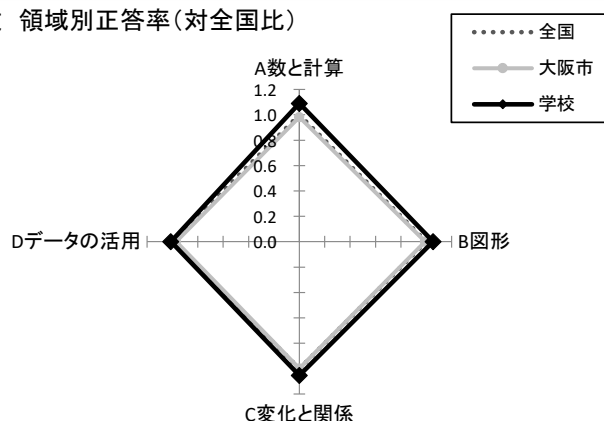
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)

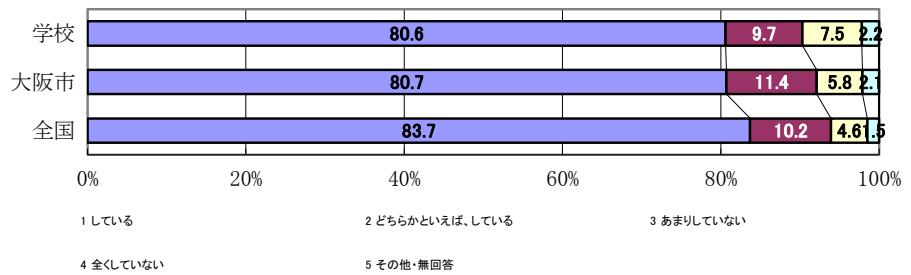


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

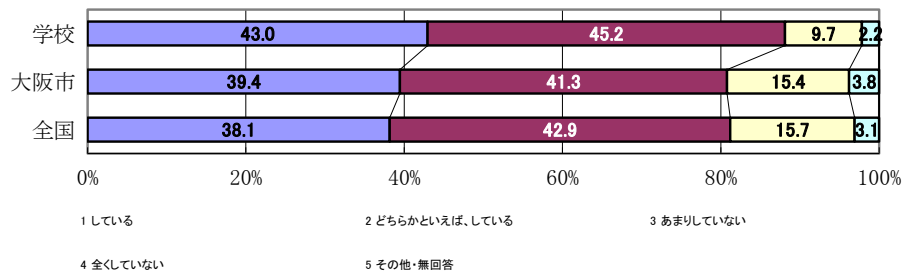
1

朝食を毎日食べている



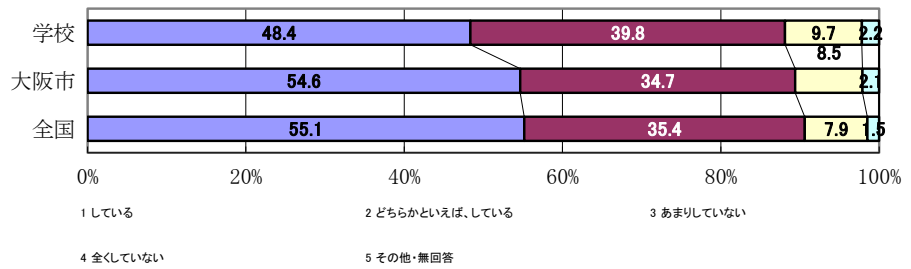
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



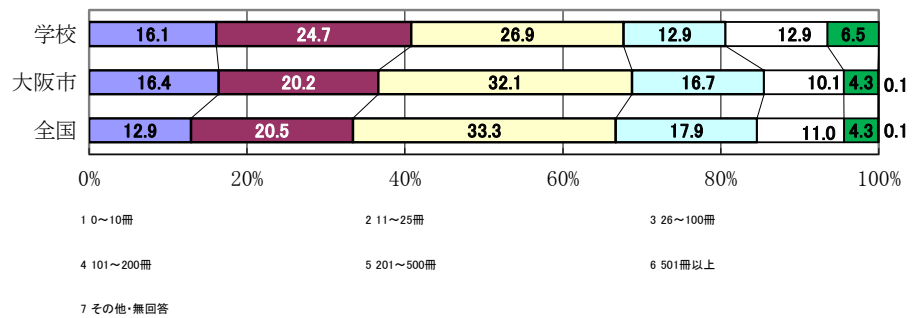
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



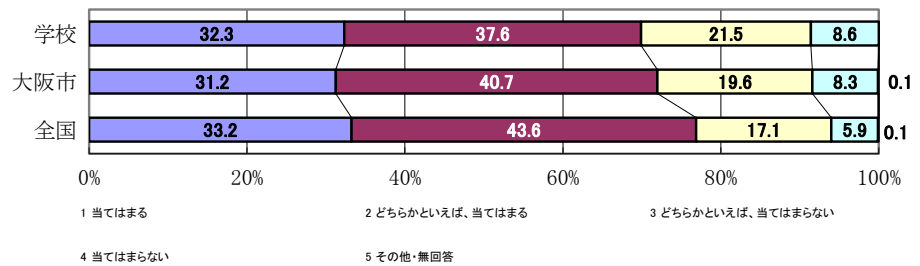
22

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除きます)



26

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

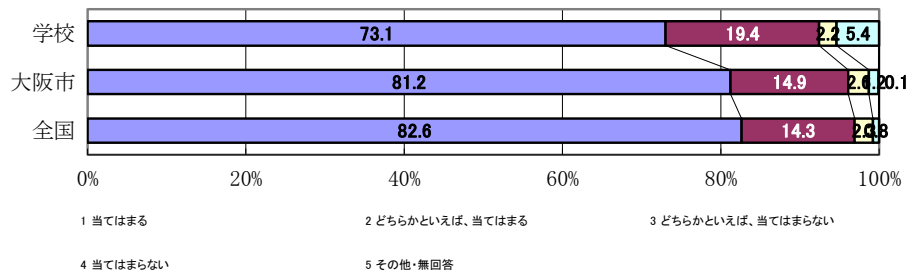


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

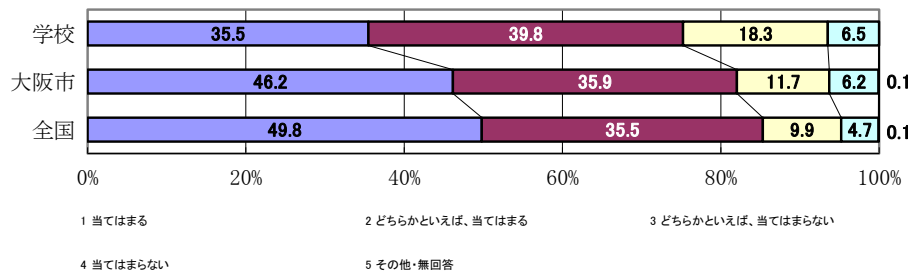
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



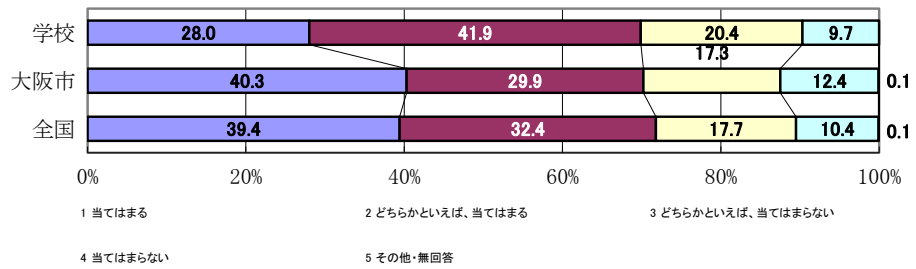
12

学校に行くのは楽しいと思う



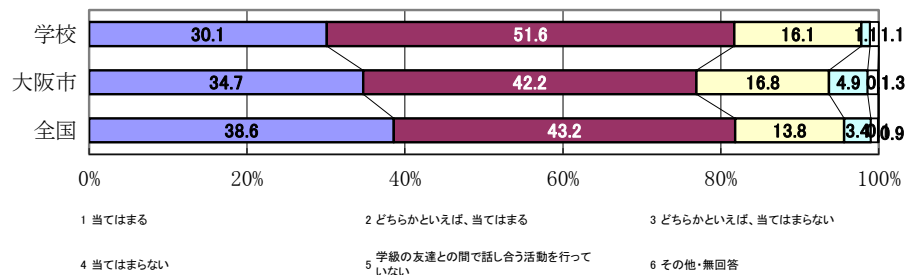
24

読書は好きですか



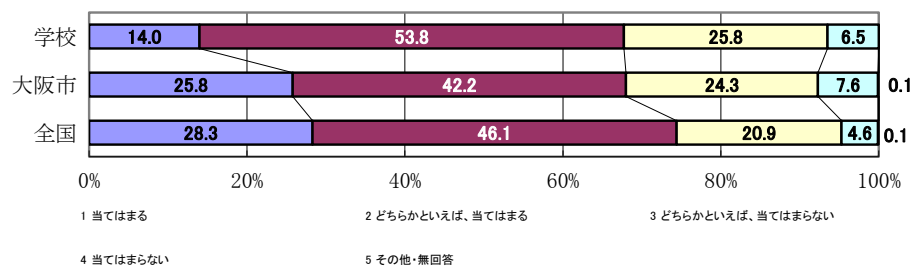
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



34

(5年生までに受けた)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた



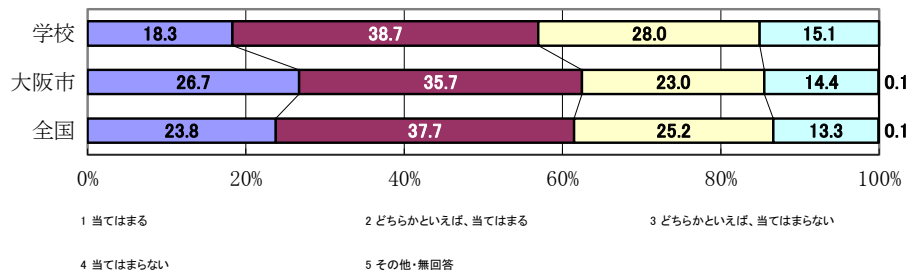
# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

43

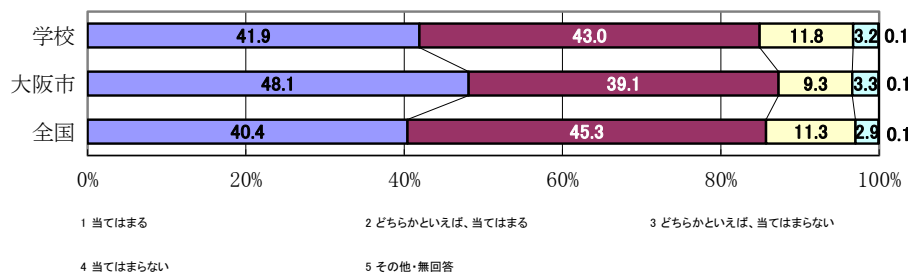
国語の勉強は好きだ

1 2 3 4 5 6 7 8



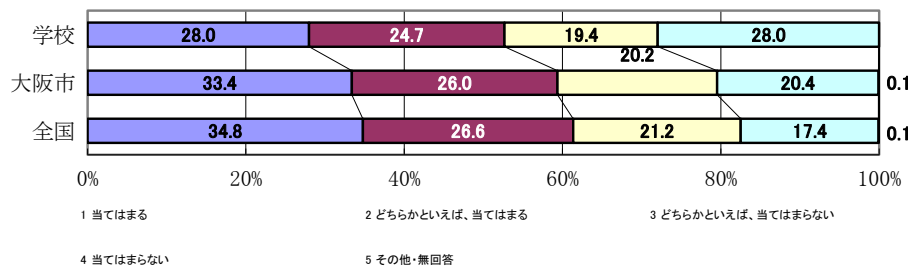
45

国語の授業の内容はよく分かる



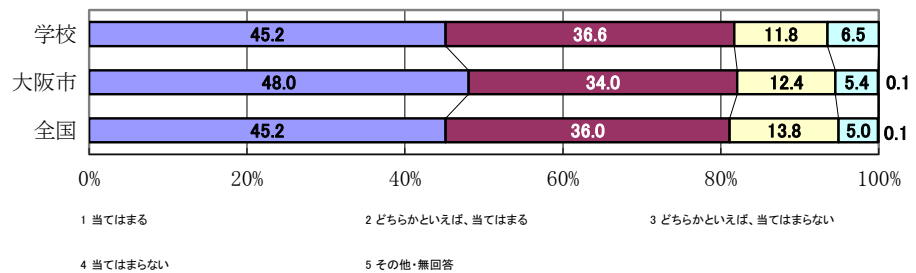
51

算数の勉強は好きだ



53

算数の授業の内容はよく分かる



55

英語の勉強は好きだ

